

(仕様書第 3 号様式)

かながわコミュニティカレッジ運営業務実施報告書

令和 7 年 10 月～令和 8 年 1 月分

(令和 8 年 1 月 23 日現在)

1 業務の名称

令和 7 年度かながわコミュニティカレッジ運営業務

2 実施した業務の内容等

(1) 講座企画実施団体への支援業務

ア 講座実施に係る団体・講師との調整および支援

- 令和 7 年度講座開催計画に沿って、計画講座の企画実施団体又は講師と打ち合わせする等、講座開催時期や内容等の調整・確認を行った。
- 特にコミュニティカレッジでの講座実施経験が少ない団体や新規の団体には、講座カリキュラムの調整、運営について個別に相談・助言を行った。

イ 横須賀市で多様な受講生に配慮した講座開設

- 10 月 25 日(土)、11 月 1 日(土)に横須賀市で「多様性の視点から災害と避難所・避難生活を考える」の講座を実施した。受講人数は 23 名。そのうち横須賀市在住者は 14 名となった。受講生のうち、手話通訳希望者 1 名、車イスの方 2 名、託児 1 名であったが、それぞれ対応を行いながら講座を運営した。
- 1 月 29 日から始まる「NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座 オンライン」で、第 1 回と第 2 回に要約筆記者を入れ、配慮を行う予定である。後半については、Zoom や YouTube 動画の文字起こし機能で対応する。

(2) 受講生募集のための広報

ア 募集チラシの作成・送付

- 1 月以降に開催する主催講座、連携講座の募集チラシをそれぞれ作成、県内の公共施設等へ送付・配架依頼した。国際交流ラウンジや行政サービスコーナーなどにも引き続き配架依頼した(作成数 5 件、送付先 約 700 か所)。

イ 多様な媒体を活用した講座情報の発信・周知

- 講座情報を下記の媒体を通じて告知した。
県のたより、かながわコミュニティカレッジのホームページ(県の HP 及び当団体運営 HP)、かながわコミュニティカレッジ登録者メールマガジン、基金事業課・NPO 協働推進課のメールマガジン、Peatix、県民センター 1 階デジタルサイネージ、ボランティア活動支援センター・社会福祉協議会の WEB 広報等

ウ メールマガジンによる講座情報の発信

- かながわコミュニティカレッジ登録者メールマガジンは、10 月 29 日、11 月 27 日、12 月 23 日に配信を行った。講座案内や、公式 Instagram の紹介、ボランティア活動相談窓口の案内、年末年始の事務局開室・閉室のお知らせ等を配信した。
(メルマガ配信 4,176 件 12 月 23 日時点)

エ 公式 Instagram による講座情報の発信・広報

- 自由提案の 1 つである SNS 強化のため、かながわコミュニティカレッジの講座の告知情報や様子等を発信するため、6 月 6 日より公式 Instagram を開設している。現在、投稿 60 件、フォロワー 131 名(1 月 23 日時点)となった。

○12月は6投稿と少なかったものの、閲覧数とリーチが過去最高となった。要因としては、フォロワーの増加と、講座実施団体がシェアしてくれたことが考えられる。「地域で支える、外国につながる子どもやその家族へのサポーター養成講座 終了しました」の投稿では、135人リーチと、過去2番目に高く、30代、40代が多かった。

<投稿内容> 講座募集チラシ、講座報告、支援施設等に行ってきました！

https://www.instagram.com/komikare_kanagawa/



オ 活動報告書の配布および関係ネットワークとの情報連携

- 令和6年度に作成した、「令和6年度活動報告」は引き続き、県民センター内に配架し、講座受講生に配布した。
- 「かながわ人生100歳時代ネットワーク」に参加し、講座情報の提供などを行った。

(3) 修了生の地域・社会貢献への参加促進や活動支援など

ア 受講生交流サロンの企画

令和7年度の主催講座受講生を対象に開催する「受講生交流サロン」の企画準備を進めた。1月下旬に対象者への案内を郵送と講座での配布を行う予定である。概要は以下のとおり。

日 程	令和8年3月14日(土) 13:30~15:30
会 場	かながわコミュニティカレッジ講義室
定 員	30名
受講対象者	主催講座受講生約825名(※複数講座受講含む) はがきを郵送または配布等
参加費	無料
内 容	自分の当たり前って、みんなも当たり前? ~ちょっとした工夫で対話を活性化 哲学カフェのすすめ~
講 師	堀澤美佳氏 「タカテツ」主宰、認定ワークショップデザイナー情報交換・交流

イ 受講生フォローアップのサポート

講座終了後、受講生フォローアップを希望する団体には、講義の貸し出しや受講生への案内を行った。

「防災教育ファシリテーター養成講座(初級編)(上級編)」

※講師デビューに向けて、実践トレーニングを実施

「地域でつながるあなたの第一歩“ウェルビーイングの始め方”」

※健康マージャンを学び活動に活かす準備、哲学カフェ等を開催

「地域で支える、外国につながる子どもやその家族へのサポーター養成」

※2月2日(月) 霧が丘ぷらっとほーむ 見学予定

「シニアライフアドバイザー養成講座」

※2月7日(土)にフォロー講座開催予定

「多様性の視点から災害と避難所・避難生活を考える講座<横須賀会場>」

※2月28日(土) 横須賀でフォローアップ講座開催予定

「共助の地域づくりを推進する講座」

※3月4日(水) 春日台センターセンター見学予定

「人と人のつながりづくり、拠点づくり地域を豊かにするための連続講座」

※3月10日(火) 霧が丘ぷらっとほーむ 見学予定

「大人の発達障がいとひきこもりを考える講座」

- ※定期的にフォローアップ会の開催や、勉強会、見学会の案内
「野生動物リハビリーター養成講座（講義編）」
- ※3月8日（日） フォローアップ開催予定
「子どもシェルターのボランティア養成講座」
- ※3月21日（土）フォローアップ開催予定

また、講座終了後、自主グループとして登録または登録予定のある講座は以下のとおり。

- 「大人の発達障がいとひきこもりを考える講座」
- 「発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座」
- 「地域でつながるあなたの第一歩“ウェルビーイングの始め方”」
- 「防災教育ファシリテーター養成講座（初級編）（上級編）」
- 「地域活動リーダー養成講座」
- 「回想法リーダー養成講座」

ウ ボランティアサロン・相談窓口の周知・見学ツアー

各講座の開催期間中に、かながわ県民活動サポートセンター9階、10階のボランティアサロン及びボランティア活動相談窓口の周知及び現場案内を実施した。スタッフが案内役となり、ボランティアサロンの利用目的や使い方、ボランティア活動相談窓口の様子、その他コピー機、図書などの説明を行った。各講座とも数名から10名程度の希望者があり、今後の利用が見込まれる。ボランティア活動相談窓口への相談も、講座受講者が目立つようになったと報告を受けている。

エ 情報紙の配架

県内のボランティア活動支援センター、社会福祉協議会等が定期的に発行している情報紙を、2つの講義室内に設置しているラックにそれぞれ配架して、受講生の活動に役立つ情報提供を行った。

(4) その他報告事項

ア 講座周知に向けた施設訪問と情報連携の実施

県内ボランティア情報の収集、ボランティア活動支援センター等との情報交換、コミュニティカレッジのチラシ配架状況の確認などを目的に、事務局スタッフが下記の施設を訪問した。

<訪問施設>

- 横須賀市立市民活動サポートセンター
- 大和市市民交流拠点ポラリス
- 鎌倉市民活動センター

イ 受講支援制度の周知と案内

コミュニティカレッジ主催講座を対象とする受講支援制度（助成金、奨励金）について、チラシの発送時やメールマガジン等で案内を行った。

- 「人材育成支援事業助成金（一般社団法人かながわ土地建物保全協会）」
- 「横須賀市 市民公益活動人材育成研修受講奨励金制度」

ウ 令和7年度活動報告書

現在、令和7年度の活動報告書の制作を行っている。3月中旬に完成予定である。

エ 修了生インタビュー

2月に2講座（3名）の方に対して修了生インタビューを行う。インタビュー記事は、令和7年度活動報告書に抜粋版と県ホームページに掲載いただく予定である。

オ 会議・研修への参加

○第2回ボランティア・市民活動推進会議（主催：神奈川県社会福祉協議会）でかながわコミュニティカレッジの活動報告を行った。

令和7年12月11日（木）

○要約筆記体験会参加 令和7年11月6日～12月4日全3回

主催 大和市要約筆記者の会 筆つき〜ず

会場 大和市民交流拠点ポラリス

○神奈川県立図書館主催「令和7年度ボランティア入門講座」見学予定

令和8年2月21日（土）